予防接種はお早めに

麻しん・風しん（MR）を受けましょう

流行時期は春から初夏

麻しんは毎年春から初夏にかけて流行が見られますので、7月までの接種をお勧めします。

※2回の接種が必要です。

また、麻しんは感染力が強く、予防接種を受けないと多くの人がかかる病気です。特効薬がないため重い合併症が発生したり、死亡することも稀ではありません。

小さいお子さんほど重症化しやすいので、1歳になられたらなるべく早く1回目の予防接種を受けましょう。

予防接種方法は

予防接種委託医療機関に予約をしてください。

※今までに罹ったことのある方は免疫を持っていることから、罹っていない方のワクチンを単独ワクチンで接種することも可能です。（予診票は健康福祉課にあります）

■接種に必要なもの

①予診票（中学1年生と高校3年生相当の対象者には、4月に個人通知で送付をしています）

②母子健康手帳

■接種料金

無料（公費負担）

※ただし接種期間に限ります。

平成２４年度予防接種対象者

第１期	生後12ヶ月以上24ヶ月未満の方 １歳児（２歳の誕生日の前々日まで）
第２期	５歳以上７歳未満の方で、小学校入学までの１年間（年長児） ※平成18年４月２日～ 平成19年４月１日生まれ
第３期	中学１年生に相当する年齢の方 （年度内に13歳になる方） ※平成11年４月２日～ 平成12年４月１日生まれ
第４期	高校３年生に相当する年齢の方 （年度内に18歳になる方） ※平成６年４月２日～ 平成７年４月１日生まれ

※平成25年３月31日までが接種期間となっています

任意的な予防接種費用の助成について

町では、次の任意的な予防接種にかかる費用を助成しています。

子宮頸がん予防ワクチン

●**対象者**／中学生と高校1年生に相当する年齢の女子

●**助成金額**／全額助成

●**接種スケジュール**／半年以内に3回の接種が必要です。ワクチンの種類が2種類あるため、どちらを受けるか医師とご相談ください。

●**子宮頸がん予防ワクチンの特徴**

・日本人の子宮頸がんの原因の70％を占める発がん性ＨＰＶ16型と、ＨＰＶ18型の感染を防ぐことができます。

※ワクチンに子宮頸がんを治療する働きはありません。

※ワクチンで予防できないＨＰＶもあります。細胞診検査で前がん病変や初期のがんを発見できるため、20歳になったら定期的にガン検診を受けるようにしましょう。

ヒブワクチン

●**対象者**／生後2ヶ月～満5歳未満

●**助成金額**／全額助成

●**接種スケジュール**／開始年齢により接種スケジュールは異なります。

小児用肺炎球菌ワクチン

●**対象者**／生後2ヶ月～満5歳未満

●**助成金額**／全額助成

●**接種スケジュール**／開始年齢により接種スケジュールは異なります。

※任意の予防接種は予防接種法に基づかない予防接種です。予防接種による効果や副反応、健康救済制度などをよく理解され、接種するかどうかをよく検討してください。

●**接種に必要なもの**

①予診票（対象者には予診票送付しています。）

②母子健康手帳

《問い合わせ先》
南部町健康福祉課
☎66-5524